

(様式3)

事業所名 グループホーム雅

## 目標達成計画

作成日: 平成 31年 3月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	災害対策として備蓄品の配備、水道が使えなくなった時の対応の確認、また、円滑な避難ができるように非常口の段差の対策を検討する。	備蓄品を配備し職員全員が備蓄品が置かれている場所を把握する。 避難口の段差の問題を解消し円滑な避難ができるようにする。	備蓄品として必要なものを職員で話し合いそろえて置く。また、備蓄品の使用期限の確認や使えるかどうかの確認を定期的に行う。 職員で話し合い非常口の段差解消に向けた対策を考える。	12 ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。